

同窓会長挨拶

紫友同窓会 会長 鶴田 勉
(昭和49年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また同窓会の運営・活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。この度、共同獣医学部同窓会会長を仰せつかりました昭和49年卒業の鶴田です。よろしく願い申し上げます。

さて紫友同窓会は、山口大学とそれぞれの特徴をいかした共同獣医学部が創設されたことに伴って獣医学科から共

同獣医学部の同窓会へと変わりました。最近では、EAEVEの取得など国際的な獣医師の育成、奄美大島の世界自然遺産登録へむけてのノネコでの協力や防疫や衛生管理の技術向上、全国の畜産・獣医学生を受け入れる南九州畜産獣医学拠点創設に参画したりなど、共同獣医学部は世界に通用する日本一の大学を目指して日夜奮闘しております。

鹿児島大学の改組により来年度の募集より共同獣医学部は共同獣医学科と畜産学科の二学科制になるため、新たに畜産学科新入生30人が紫友同窓会の会員となります。

紫友同窓会は、これまで同様会員相互の親睦・更なる飛躍を目指している母校の発展のために寄与していく所存です。これまで同様のご支援・ご協力をお願いいたします。

共同獣医学部近況報告

学部長 三角 一浩
(昭和61年卒)



鹿児島大学共同獣医学部は、令和5年4月、12年目を迎えました。学部開設からこれまで欧米水準の獣医学教育を目標に教育改革を進めており、今後も欧州獣医学機関協会(EAEVE)による獣医学教育評価の認証を維持していくことで、我が国における獣医学教育改革を先導していく所存です。紫友会の皆様には、獣医師として勤務される諸先輩方からお力添えを受けており、家畜保健衛生所、食肉検査所、鹿児島県農業共済組合家畜診療所等での動物衛生学、食品衛生学、産業動物臨床獣医学の学外インターンシップ実習を通じまして、貴重な経験と教をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

本学部は、鹿児島の地にある獣医学部として、畜産獣医学の教育研究の特色化に取り組んでいます。今年度は、曾於市の財部高校跡地整備した「動物福祉に配慮した畜産農場の先進的モデル」等の施設を活用して、より大きな参加型実習の場を作り、自大学のみならず他大学からも獣医学や畜産学を学ぶ学生を受け入れ、また畜産獣医学の技術者のリスクリング研修も担う教員組織「南九州畜産獣医学教育研究センター(SKLVセンター)」を整備しました。令和6年4月からの運用開始に向けて、動物衛生学と産業動物臨床獣医学を専門とする4人に異分野連携担当1人を加えた計5人のセンター教員が教育研究を通じた地域との連携を図ります。

また鹿児島で働く獣医師を養成するために、令和5年度入学者選抜から導入されました「地域枠」入試制度である「学校推薦Ⅱ」では、令和6年度入学者選抜試験の志願者数が、前年度を大きく上回りました。鹿児島県や農業共済組合と連携した特色ある教育プログラムを提供し、鹿児島で働く気鋭の産業動物獣医師を、5、6年後には輩出できると期待しています。

また令和6年度には共同獣医学部畜産学科を新設して、共同獣医学科との2学科制となります。本県の特徴を活かした畜産学と獣医学のハイブリッド教育カリキュラムを創り、我が国の畜産業を牽引し南九州の発展に貢献できる世界水準の畜産技術者の養成に取り組んでいきます。共同獣医学部の教員組織の中に、畜産学科の教育を担当する畜産科学講座を新設し、ここに8人の専任教員を配置します。畜産学教育を行うための附属施設として必要な入来牧場は共同獣医学部へ移管され、畜産物分析室の新設により2人の特任教員も配置の予定です。畜産学科の教育課程を充実させ、畜産生産・畜産化学技術者に加え獣医療技術者として動物看護師の受験資格を得ることも可能としました。令和6年度に入学する共同獣医学部畜産学科の1期生は、共同獣医学科の学生同様、紫友会の新規会員として歓迎くださいますようお願い申し上げます。

このような変革の時期に、本学部ではホームページの更新を行いました。入学を希望する高校生、学部研究科で学ぶ学生、企業や自治体の皆様への情報発信に加え、獣医学科の卒業生が交信・交流するための紫友同窓会のページを創りました。紫友会の皆様に向けて、母校の現況情報や同窓会の開催案内等、発信を続けてまいりますので、引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

41年間の教員生活を振り返って

松元 光春(昭和55年卒)

紫友同窓会会員の皆様には日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、昨年3月末をもって母校を定年退職いたしました。浅学非才の私が約41年間に及ぶ教員生活を大過なく終える事ができましたのは、ひとえに会員の皆様と大学教職員の皆様のご指導ご鞭撻のお陰であり、ここに厚くお礼申し上げます。

振り返ってみますと、私は1982年に家畜解剖学教室の助手として採用され、恩師の大塚閏一先生、西中川駿先生のご指導の下で教育に従事しながら、研究としては電子顕微鏡を使ってマウス乳腺の血管の微細構造を機能形態学的に解析する事から始めました。それまで電顕とは無縁の骨の研究をしていたので、その技術的な事は鈴木秀作先生が島根医科大学に転出される前に、先生から一通りご教授いただいていたのですが、いざ始めてみると上手くいかずに試行錯誤の連続でした。夜に指を切りながらガラスナイフを作製したり、真っ暗な部屋で電顕を操作しながら蛍光板に映し出される細胞の微細構造を観察したり、はたまた暗室でフィルムを現像したりと暗い場所での作業が多くなり、明るい場所が恋しくなる事もありましたが、美しい電顕写真を撮ることに没頭したように思います。その後は免疫組織化学や生化学的な方法も併用しながら、血管新生因子の解析を進めましたが、ここ数年はまた遺跡出土の動物骨の研究を再開しました。これらの研究は研究室所属の学生や留学生と共に学

会発表を目標に実施したので、彼らには充実した時間を過ごさせてもらった事を感謝しています。

教育面では、担当科目が学生にとって最初の専門科目という事もあって、獣医学教育の始まりの高揚感と共に獣医師になる覚悟を意識してもらえるように講義・実習に取り組みました。特に肉眼解剖学実習では、生検体を使用する事もあり、学生には動物福祉や倫理も理解した上で短時間に多くの事を学んでもらおうと時間を厭わずに夜遅くまで実習を実施しました。実習室は改修前の空調や設備が整っていない悪環境から改修後の好環境に変わり、冬場に集中していた実習が時期に関係なくじっくりとできるようになったのは喜ばしい事でした。また、対象動物をすべて生検体で、大動物を立位方式で実習を実施できたことは他大学にも誇れる事だと自負しています。ただこの事は私の一方的な思いですので、学生の中には異なる意見があることも承知しています。

獣医学教育は私の在任中に大きく変遷しました。私より1学年下までが4年制、その後修士積上げの6年制から6年間一貫教育へと発展し、2012年には同窓会の悲願であった学部創設が実現しました。学部になってからもEAEVEやAAALACといった国際認証を取得しましたが、これに微力ながらも貢献できたのではないかと思います。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝ならびに母校の益々のご発展を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。



***会計報告**

令和4年度の一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	決算
収入	繰越額	2,417,298
	会費	231,000
	学生会費	10,000
	雑収入	8
	繰入金	50,000
	合計	2,708,306
支出	会議費	10,955
	通信費	0
	寄附費	15,000
	人件費	100,000
	卒業式関連費	42,992
	同窓会連合会費	100,000
	その他	96,201
	合計	365,148
繰越し	(収入 - 支出)	2,343,158

評議員 選出母体 学 外	市食肉検査所	尾堂 憲司(04)
	市動物公園	桜井 晋子(06)
	経 済 連	川畑 忠祐(13)
	開 業	西 洋志(11)
一 般	松元 計士(36)	石黒 茂(41)
	安田 宣紘(43)	田原 健(45)
	櫻井 幹男(51)	北野 良夫(52)
	紺家 亮爾(52)	山下 静馬(53)
	上村 祐子(56)	西田 浩二(56)
	佐々木幸良(58)	
	鹿 大 医	瀬戸山健太郎(12)
評議員 選出母体 事 務 局	宮本 篤(57)	三角 一浩(61)
	帆保 誠二(62)	小尾 岳士(02)
	藤木 誠(07)	畠添 孝(08)
	三浦 直樹(09)	矢吹 映(09)
	安藤 貴朗(13)	高橋 雅(16)
	山下 紀幸(21)	一二三達郎(22)
	古澤 悠(24)	野口 亜季(25)
	蔵元 智英(27)	奥谷 公亮(29)

***会費等納入のお願い**

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（令和4、5年分、1,500円×2年=3,000円）及び学術基金（寄附金、一口500円×2年=1,000円）から成り立っています。会費等の納入用に、年会費のみや年会費と学術基金をセットにしたコンビニ・各種Pay用の専用振込用紙も同封しましたのでご利用ください。皆様からの浄財は、会報発行や共同獣医学部への支援等に大切に使用させていただいております。今後とも同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

***同窓会役員**

令和5年度の現役員名簿は下記のとおりです。

顧問	西中川 駿(36)	新納 時英(44)	
会長	鶴田 勉(49)		
副会長	梶 哲郎(44)	伊地知洋幸(54)	
	松元 光春(55)	宮本 篤(57)	
監事	高瀬 公三(50)	吉満 文隆(57)	
	川原 成明(61)		
評議員 選出母体 学 外	県畜産課	大園 浩之(02)	福重 哲也(03)
	県生活衛生課	我部山 厚(04)	迫田 豊秋(06)
	試験場関係	大小田 勉(62)	
	中央家保	上村美由紀(61)	
	県食肉検査所	藤元 英樹(61)	
市農林部	東原 孝(02)		

***訃報** 謹んでご冥福をお祈りいたします。

山口 洋二 (S22)	鬼丸 流石 (S22)
石丸 義美 (S23)	山下 欣一 (S23)
前原 實 (S26)	白坂 昭治 (S26)
福岡 逸朗 (S29)	阿部孝一郎 (S35)
野間口義知 (S35)	大村 康治 (S38)
萬野 秀幸 (S39)	坂本 紘 (S40)
永野 保任 (S41)	坂之上義弘 (S46)
高橋 亘 (S46)	小野 三男 (S51)

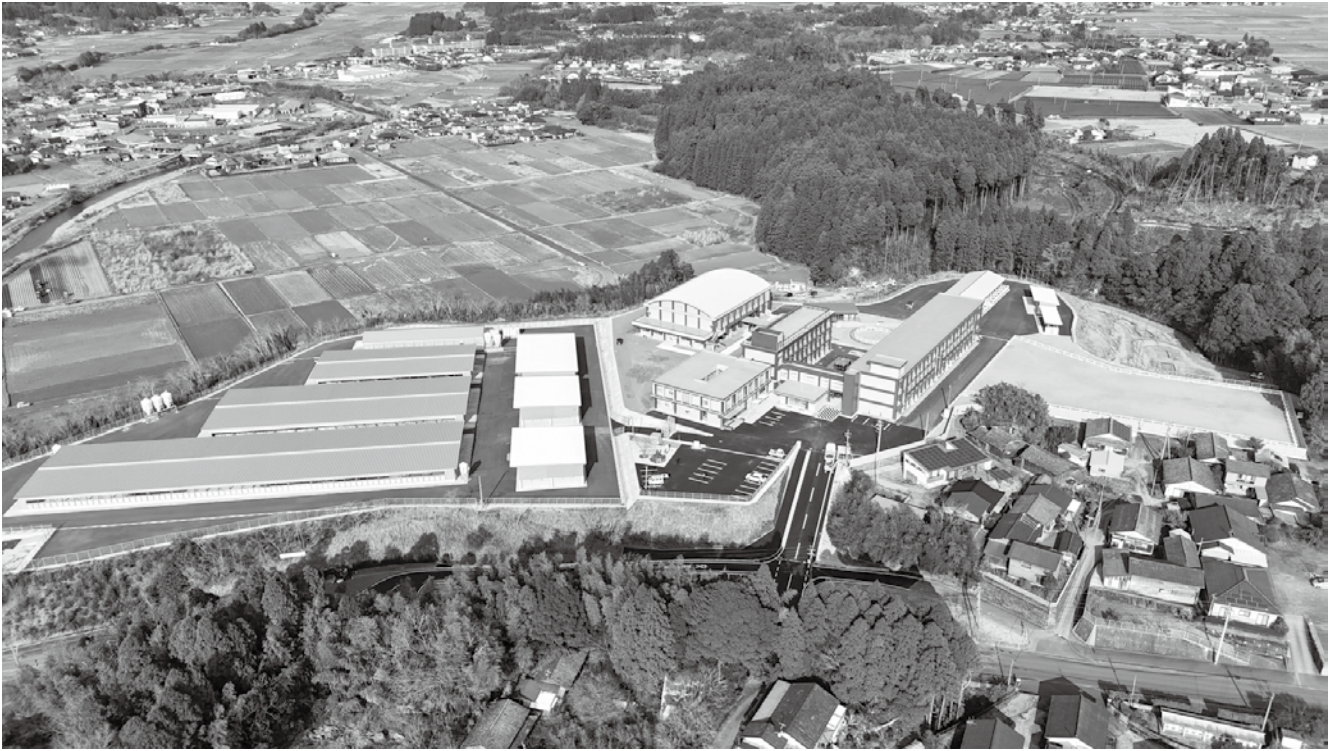
(敬称略：令和4年1月～令和5年3月末にご逝去の連絡があった先生方)

編集後記

会報を編集している中でも、学部では新しいことが次々と展開しており、正に時の流れの速さを実感しています。これから深刻な人口減少を迎えるとき、鹿児島から日本を盛り上げる新しい試みとと思いました。今後とも、同窓の皆様方と連携を密にしながら、皆様方のご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。会報作成にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(宮本)

連絡先

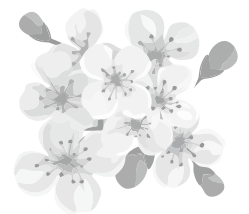
鹿児島大学共同獣医学部南九州畜産獣医学教育研究センター
紫友同窓会（事務局）
TEL：0986-72-2090（FAX 兼用）
E-mail：k1330977@kadai.jp
(お願い：出来るだけ FAX またはメールをご利用ください)



南九州畜産獣医学拠点の全景



双方向性遠隔講義システムを備えた講義室



屋外馬場にて